

四国電友会会報

第 1 3 3 号

平成 18 年 1 月



《 撮影：八 束 幸 信 さん 》

目 次

年頭のごあいさつ（電友会四国地方本部長 年頭にあたつて（NTT西日本四国支店長） NTTグループの動き	2
☆ 平成一七年度中間決算	4
☆ NTT西日本グループCSR報告書	4
健康のページ	
・二〇〇六年医療情勢の動き	5
ドキュメント	
・枯木や石ころを華やかに再生「現代の花咲爺さん」	6
支部だより	
・親善バス旅行（香川）	7
・趣味の作品展（愛媛）	8
サークル紹介	
・ゴルフサークル「八一会」（香川）	8
・電電徳島OB「縁台クラブ」（徳島）	9
M・M（マルチメディア）コーナー	
・新物喰い	10
ボランティア紹介	
・生き甲斐のボランティア	10
私は 今	
・会員のみなさんの近況	12
お知らせ	
・会報記事の訂正とお詫び	18
テルウエルだより	
・『テルウエル社会福祉セミナー』の開催	19
・『どんぐりクラブ植樹事業』の取組について	19
俳 句	
・眉秋俳句会（徳島）	20
表彰／叙勲／物故者叙位叙勲／敬弔	20
表紙の言葉／編集後記	20

年頭のあいさつ

電友会四国地方本部長

芳野 運



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様にはご家族おそろいで、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

常日頃、会員の皆様には、会の活動・運営につきまして何かとご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。お陰様で会の活動も、年度事業計画にもとづき、各県支部関係役員が中心となつて、着実に推進されているところであります。

このように、私ども電友会の活動が円滑に推移しておりますことは、会員の皆様の積極的なご協力、ご努力によるものであります。同時に、私達の出身母体であるNTTはじめNTTグループ各社の物心両面にわたるご支援、ご配慮の賜物であり、ここにあらためて深く感謝しお礼を申し上げます。

さて、現在、情報通信の世界は、契約数で携帯電話が固定電話を追い抜き、インターネットも爆発的な勢いで普及し、大容量の映像が配信できるブロードバンド・ユビキタス時代を迎えています。また、通信と放送の融合や、固定電話と移動体サービスの融合といった動きが加速するなど、大転換期に直面して

いると言われています。

このような中で、NTTグループは『企業として社会的責任を自覚しつつ、社会の持続的な発展に貢献していくこと』を経営の基本姿勢として、その社会的責任(CSR)について

① 企業価値を高め、株主さまをはじめ皆さま方の期待にこたえていくこと

② NTT法に定められているユニバーサルサービス等の“法の責務”を果たして行くこと

③ e-Japan戦略等、国のIT戦略の実現に貢献していくこと

の3つのミッションをかかげ、本格的な競争時代における厳しい事業環境の中で、積極的な取組を展開することとしています。

そのような状況下で、NTT西日本においても、「お客さまに感動していただく」「地域の発展に貢献する」「安心・安全な社会の実現に貢献する」を3本柱とした「NTT西日本グループ中期ビジョン」の遂行に全力をあげて取り組んでいます。

これらのうち特に「地域の発展に貢献する」取組の具体的展開については、四国地方においても『地域との共生』として、各県毎に「エリア責任者」を配置し、「NTT存在感の向上」及び「情報収集活動」を積極的に展開することとしています。

現状の厳しい事業環境のなかにあつて、これらのNTT諸施策に懸命に取り組み、努力されているNTTグループ各社、現役社員の皆さんのご労苦に対して敬意を表するとともに

に、私ども電友会としても、NTTOBとして、NTTの諸課題について十分な理解と認識を深め、できる限りの支援等を行いたいと考えております。

会員各位におかれても、NTTの事業展開に対する地域社会での接点として、ぜひご理解・ご協力をお願いしたいと存じます。

厳しい経営環境下におけるNTTの事業展開の中にあつて、私ども電友会の平成一七年度の事業活動は、

(1) 会員が生き甲斐を感じる施策等の推進
(2) NTTグループに対する支援・協力活動
(3) 会組織の活性化・強化(入会勧奨、会員相互の親睦・交流、連携の強化)

について積極的に取り組んでまいりましたが、関係役員ならびに会員各位のご理解、ご協力により順調に推移しております。

皆様方の熱意とご努力に対し、敬意を表しますとともに厚くお礼を申し上げます。

電友会の基本理念は「NTT及びNTTグループの発展に寄与すること」「会員相互の連絡・親交を深め、会員の生き甲斐づくりを応援すること」にあります。

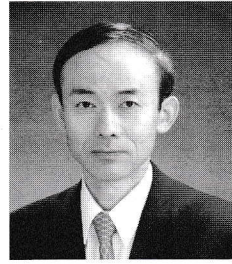
新年を迎えるにあたり、今一度この基本理念に立ち返り、会員の皆様とともにNTTグループのさらなる発展と電友会活動の円滑な推進のために頑張りたいと考えております。

最後になりましたが、会員及びご家族の皆様のご健康・ご多幸と、病氣療養中の方々の早期ご回復をお祈りし、新年のごあいさついたします。

年頭にあたって

NTT西日本四国支店長

三村 尚史



新年あけましておめでとうございます。

四国電友会会員の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

年頭にあたり、一言ごあいさつを申しあげます。

平素はNTTグループ事業に対し、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

NTT西日本では平成十四年度の事業運営体制見直し以降、平成十六年度まで三期連続の黒字を達成しているところですが、平成十七年度は中間決算において三〇六億円の経常利益となり、年度末決算においても四〇〇億円と、四期連続の黒字を達成する見込みです。これも皆様のご支援の賜と、重ねて御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、①戦後六〇年、②日航ジャンボ機墜落事故から二〇年、③阪神大震災から一〇年、④地下鉄サリン事件から一〇年など、平成一七年は時代が経過しても決して風化させてはならない様々な出来事の節目の年だった気がします。また、私どもNTTにとりましては民営化二〇年という、企業として大きな節目の年でもありました。

それから昨年を振り返るにあたって忘れてはならない出来事が、四月二十五日に発生したJR西日本福知山線の脱線事故だと思えます。公社から民営化という同じ生い立ちを持ち、社会基盤を担う企業としてこの事故を教訓として受け止め、私たち自身も「安全」「安心」「信頼」の観点から、サービスの提供状況について総点検を実施してきました。

特に安全対策については通信設備の総点検を行い、不安定な設備の改善に向けた取り組みを実施するとともに、災害が発生した時の対応についても、再度点検を行ってきました。次に情報通信の分野についてですが、近年成長著しいブロードバンドサービス市場は、昨年九月末時点の全国の契約数が二一〇〇万加入を超え、四国の加入契約数も約五二万となりました。これは同年三月末時点に比べ半年で約五万三千加入、十一%の増となります。ブロードバンドサービス市場の中でも光ファイバーを利用した超高速の「光アクセスサービス（FTTH）」は飛躍的な伸びを示しており、四国におけるNTT「フレッツ光サービス」の契約者数は、昨年十一月に五万加入を突破しました。

ただその一方で、固定電話サービスは携帯電話等へのシフトが進み、継続的な減少傾向となっております。またそれに加えて「日本テレコム」や「KDDI」等の他事業者が、本格的に展開してきており、NTTも大きな収入源である基本料金等の値下げを行うなどの対策を実施しております。

このように市場・競争環境がめまぐるしく変化する中、NTT西日本グループでは「二〇一〇年までに一五〇〇万のお客様に「光アクセスサービス」をご利用いただく」という【NTT西日本グループ中期ビジョン】の実現に向けた取り組みを展開しています。

具体的には「NTT西日本グループは、ユニバーサルサービスでもブロードバンド&ユビキタスでも、『お客さまに末永くご愛顧いただけること』を目指し、そのために光ブロードバンドのナンバーワン事業者として、また通信の最後の拠り所（ラストリゾート）の担い手として①お客様に感動していただく②地域の発展に貢献する③安心・安全な社会の実現に貢献する」ということを目指しております。

昨年十一月・十二月、退職者の皆様にNTT西日本グループの事業動向を説明させていただくと共に、皆様の貴重なご意見を賜る機会を設けさせていただきました。

今後とも出来る限り会員の皆様との交流の場をつくり、ご意見を頂戴しながら会員の皆様が公社時代から培っていただいた「安心」「安全」「信頼」というNTTグループのブランドイメージを失うことなく大切に育てることを念頭に置いて、お客様に末永くご愛顧いただけるよう、より良いサービスを提供していく所存でございます。

最後になりましたが、四国電友会の更なるご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

NTTグループの動き

★平成十七年度中間決算概要

【NTT西日本は「経常利益三〇六億円・中間純利一九一億円の黒字」を達成】

NTTは、十一月九日、平成十七年度（第七期）中間決算を発表しました。

これによると営業収益（売上高）が五兆二千三一五億円（対前年比▲九〇一億円）、営業費用が四兆四千六八一億円（対前年比▲六五七億円）で、営業利益は七千六三四億円（対前年比▲二四四億円）と、対前年減収・減益となりました。

他社との競争もますます激しくなり、平成十七年度の年間業績見込は、中間決算同様に対前年減収・減益が見込まれますが、昨年度以上の営業利益確保（一兆一千六〇〇億円）を目指しています。

次にNTT西日本の決算状況です。

まず収入面では、各事業者との競争が激化するブロードバンドサービス分野において「フレッツ・光プレミアム」「ひかり電話」の提供エリア展開の前倒しや、「光くつと割引」サービスを導入するなどを実施した結果、IP系収入は中間期で一〇〇〇億円の大台に達し、対前年で約二五〇億円の増収となりました。

一方既存サービス分野においては、「安全」「安心」「信頼」といったNTT西日本の強みをお客様に理解していただけるよう努める

とともに、マイライncerユーザー様の囲い込みなど、積極的な営業活動を展開してきました。またそれに加えて「カスタマー・サービス活動」を積極的に推進するなど、お客様の他事業への乗り換えを最小限に止めたことにより基本料などの既存サービス収入の確保を図ってまいりましたが、他事業者への対策で一月に実施した基本料値下げによる減収が影響し、五〇〇億円の減収となりました。

NTTグループの平成17年度中間決算状況 (単位: 億円)

	西日本	東日本	コミュニケーションズ	データ (連結)	ドコモ (連結)	NTTグループ (連結)
営業収益 (対前年増減)	10,050 (▲241)	10,499 (▲214)	5,478 (224)	3,896 (78)	23,735 (▲785)	52,315 (▲901)
営業利益 (対前年増減)	260 (▲219)	471 (▲8)	343 (▲135)	169 (▲0)	5,584 (129)	7,634 (▲244)
中間純利益 (対前年増減)	191 (▲124)	340 (26)	28 (▲248)	94 (12)	3,853 (501)	3,307 (▲138)
当期純利益	250	480	130	270	6,040	5,250

(注) 「NTT(連結)」は、表の各社を含む414社(連結決算の対象となるNTTグループ会社)の合計

収入トータルでは対前年二五〇億円の減収となり、IP系収入が着実に増収となつていくものの、既存サービスの収入減カバーには至らず、厳しい状況が継続しています。また費用面ではブロードバンド販売経費やお客様が「安全」に「安心」「信頼」してサービスを利用していたくための基盤整備にかかる経費が増加しているものの、コスト削減を継続して実施することで、昨年と同レベルの営業費用を維持することが出来ました。これらを取り組んだ結果、営業収益は一兆五〇億円となり、経常利益は三〇六億円、中間純利益は一九一億円と黒字を確保することが出来ました。

『NTT西日本グループCSR報告書』の発行

NTT西日本では、CSR(企業の社会的責任)について昨年10月「NTT西日本グループCSR報告書2005」を発行し、①お客様・地球環境・地域社会に対する「社会的価値」の増大 ②株主に対する「経済的価値」の増大 ③社員に対する「人間的価値」の増大という3つの価値の増大を掲げ、NTT西日本グループの有する技術・資源・ノウハウ等を活かし、将来に渡って「安全」「安心」「信頼」のサービスを提供し続けることで、持続可能な社会の構築に寄与していきたいと考えております。

なお、詳細はweb上(NTT西日本公式ホームページ)で公開しています。
<http://www.ntt-west.co.jp/kankyoi/index.html>

健康のページ

二〇〇六年医療情勢の動きについて

NTT西日本 松山病院長

井上 賢二

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、今年もどうかよい年でありますようお願いしています。

さて、今年はいよいよ政府の医療制度改革大綱が国会に提出される年になりました。報道によりますと、子育て支援策として三歳未満児への二割負担を六歳児まで拡大することもあり盛り込まれていますが、主旨は、国の医療費負担額を削減しようとするものといえます。

その第一は、高齢患者さんの負担増で、第二は医療施設が受け取る診療報酬のマイナス改定であります。前者は患者さんにとって、後者は病院にとつてより厳しいことになり、患者さんにあつては受診の手控え、病院にあつてはさらなる経営難ということになりかねないともいわれています。

第一の患者さんの外来窓口負担増ですが、最終案では、①69歳以下は三割、75歳以上は一割で、現行通り据え置く。②70歳～74歳は平成20年度中には所得に関係なく現行一割を二割に引き上げる。ただし、現役並み所得者については、今年10月に前倒しして現行二割を三割に引き上げる。なお、低所得者については、現行の外来月額八千円となつてい

る自己負担限度額は維持するというものであります。

次に、入院費の改定部分ですが、医療型療養病床に長期入院している場合、今年の10月から食費や住居費の患者さん負担増および高額医療費の払い戻し制度の自己負担限度額の引き上げ案が盛り込まれています。

第二の診療報酬の改定ですが、二〇〇二年には、二・七％という、史上初めてのマイナス改定が行われ病院は大打撃をこうむつたのですが、今回さらに三％前半代のマイナス改定が提案されています。

患者さんにとっては費用面で朗報ですが、今でさえ苦しい病院経営を圧迫することになります。対する日本医師会は猛反発し、診療報酬三％アップを主張しています。

これらの背景ですが、政府の主張によれば、推計上二〇二五年には国民総医療費は56兆円に達するとされ、このままでは、保険制度はもとより国の経済が破綻するため、ぜひとも必要な改定とされています。

一方、これは米国民間保険業界がわが国の官営医療保険制度に介入するための戦略の第一歩ではないかと指摘する意見もあります。

我が国の官営国民皆保険制度は種々の問題があるとはいえ、WHOより現在、世界第一の評価が与えられています。

国家の破綻をきたすほど高いと喧伝されているわが国の医療費ですが、一人当たり年31万円、総医療費の対GDP比は七・八％で、米国のそれは59万円と一三・九％となり、これは世界一であります。

その医療行為の成果として平均寿命でみますと、わが国は世界一を誇り、かたや米国は先進国では最低の第15位であります。

すなわち医療を市場原理にゆだねた米国は、世界一高額な医療費を使い、世界第15位の成果を得ているといえます。

これは米国の貧富の差が大きいことも一因ではありますが、なにかにつけ米国が世界に推奨（押し付け）している“市場原理に基づくスタンダード”が、全世界共通の真のグローバルスタンダードか否かの問題にいきつくのではないかと思います。

すでに、多くの識者によつて警鐘を鳴らされているのですが、目下のところ広く浸透しているとはいえないと思います。

「官から民へ」とか「大きな政府より小さな政府」とかいわれていますが、政府（国の負担）が小さくなれば、その分を負担するのは誰なのかを一考し、世界一と評されたわが国の“大きな政府による高負担、高福祉たる官営医療制度”の正すべきところは正し、残すべきところは残した、真の改革となるよう念ずるものであります。



ドキュメント

生きがいを感じ・人生を楽しむ

* 枯木や石ころを華やかに再生 *

「現代の花咲爺さん」

《お宅訪問》

高知市から西へ約10キロにある土佐市高岡町の長沢正良さん（80歳）のお宅に晩秋の晴れた日に伺い、お話を聞かせていただいた。

長沢さんのお宅は西に日本一と言われる清流仁淀川、北に四国霊場35番札所「清滝寺」に抱かれた田園の広がる閑静な住宅街にある。玄関を開けて「こんにちは」と挨拶すると、まず、巣箱から小鳥のさえずりが出迎えてくれたが、これも長沢さんの発明品である。

そして玄関と応接間に続く場所に、長沢さんの手作り作品である竹製品・木製品・陶芸品・書画等が所狭しと並んでいた。

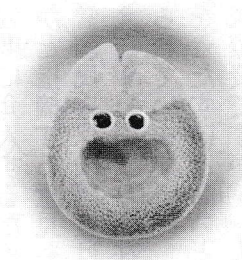
《NTT退職直後の頃》

長沢さんは。昭和57年（1982年）松山無線通信部を57歳で退職後10年間、大工・左官として近所の家の修繕や、倉庫を建てたり、またイベントの看板を書いたりして気さくな「近所の便利屋さん」として名が通っていたそうである。やはり血筋というべきか、お父さんが左官、伯父さんが大工の棟梁をしていたとのことで、器用さを引き継いでいたものと思われる。

《鼻（フクロウ）》

その後、人なつっこい人柄ゆえ、町内の世話役から地域の子供達（小学生中心）に何か

面白いことを教えられないかという要請があり、子供達を相手に手作り細工を始めたのが10年位前（平成5年春）である。



《竹の節で作った「ふくろう」》

亀さんやカニから思い立ち、ふとした事から竹の節の所を切っていると、何だか表情が面白く、それに目を入れることにより、何とフクロウに似て表情がとてかわいらしい。

また同じ物が一つとしてなく、それぞれに特徴があり楽しく、子供達も大喜びで熱心で作る事が出来たのが始まりで、掛札には『ふくろうは・福がくる・とされ開運招福のご利益があるといわれます。また不苦労ともいわれ苦労知らずに難を逃れるお守りとして幸運を呼ぶ鳥といわれています。』とあり、添え書きとして『竹の節をただ切ったものです。誰でも作ることが出来ます。作ってみてください』と書かれている。

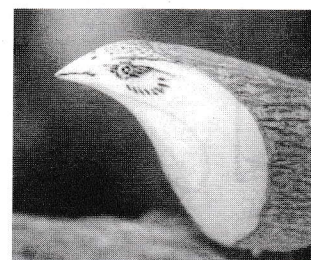
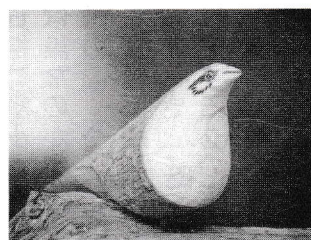
竹から生まれた「かぐや姫」を見つけた心境ではなかったかと推察される。

《バードカービング》

今度は木で何か作れないかと思い、流木や山の開発で伐採された廃木でと考え、小刀で削っているうちに鳥の形が出来た。ヒントは土佐山田町平山の甫喜ヶ峰森林公園の学習展

示館に木製の鳥が飾られていて、これだと思いい流木等を拾い集めて作り始めた。

木の種類は多く、どんな木でも作ることが可能で、それぞれの表情に応じた「肌」が出来て面白く楽しいものが出来た。鳥の形に加工することを、長沢さんのオリジナルネーミング「バードカービング」と名付けている。

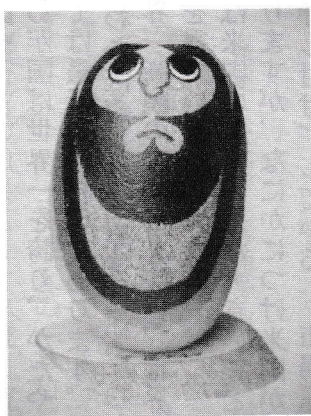


《木彫りの小鳥達》

長沢さんの工房には「この鳥たちは約20種類の木で出来ています。木の皮や色や表情を観察してください。」と看板がかかっている。

《幸福（しあわせ）ダルマ》

また、太平洋岸の浜辺で拾った丸い石で「幸福（しあわせ）ダルマ」を作成している。丸い石は室戸岬方面の佐喜浜や野根に行かないと探し当てられないそうである。



《幸福ダルマ》

掛札には「ダルマさんで親しまれているダルマ大師は、1500年ほど前に仏教を伝えるため、インドからはるばる天山南路を5年以上費やしてシルクロードを踏破された、その時の年齢も一五〇歳と伝えられています。その気力、体力はまったく常人をはるかに超えた偉大なるインドの僧です。このダルマ大師の意志の固さとねばり強さを、高知の太平洋の荒波で黒潮にもまれ丸く磨かれた堅くて粘り強い、この自然の石にその姿を映し幸福ダルマとして作りました。石の上にも3年、七転八起のダルマ精神をこのユーモラスな姿に表現した幸福ダルマです。ご家族の安全と幸せを願うものです。」と書かれている。

《手仕事屋・正良さん》

今まで10000件をこえるほどの、一つとして同じものがないそれぞれの表情を持つ作品は、自分の作った物は手放したくないのが普通であるが、惜しげもなく友人・知人に贈呈している。「皆さんに差し上げること多くの人たちに、楽しみ喜んでもらえることに無上の喜びを感じる」からとのこと。これこそ博愛精神のあらわれと言えよう。

まさに工房は枯木・石ころ等どこにでもある何の変哲もないものを、再び蘇らせる再生工場であり、「手仕事屋・正良さん」は枯木に花を咲かせる「現代の花咲爺さん」といっても過言ではない。

《八面六臂の活躍》

長沢さんは「土佐市民展」の常連でもあることから、毎回出展の要請があり人気のコーナーとなっている。長沢さんはこのほかにも「陶芸」「お花の免状」ダルマや童（わらべ）



《土佐市展において長沢さんと作品》

を墨絵で描く「禅画（ぜんが）芸術師」でもあり、描いていると「癒される、心がスウィットとする」という。また、シニアオートキャンプ関西クラブ（SACC関西）に入会しており、メンバーと一緒にワゴン車にベットも備え付けて、月に一回ご夫婦で遠くは長野県や岐阜県、香川県等主に関西一円を駆け巡るそうである。

《ご家族と今後の目標》

ご家族の子供さんはベルギーに、お孫さんはパリの大学にと、遠く離れて暮らしているが、ご夫婦仲良く戸籍年齢を忘れて楽しんでる様子がよくわかり、「今後もボケ防止のため若い人たちと一緒に、今までの趣味を継続するとともに、字の練習をしたい」と意欲

満々であった。

《取材を終えて》

何かあのプロスキーヤーの三浦雄一郎さんの元気さとダブッてみえ、私も長沢さんのダルマ大師とバードカービングを頂き、元気をもらってルンルン気分で長沢宅を後にした。

長沢さんの作品は「永遠のボランティア」を実践していることで、今日もどこかの玄関や居間・応接間で皆さんの心をなごませ、癒していることを思うと、なにかほんのりとした長沢さんの人柄を垣間見るとともに、心地良い余韻の残る楽しい取材の旅であった。

（高知・黒岩編集委員）

支那だより

☆ 親善バス旅行（香川）
川棚温泉と碧海に浮かぶ青海島へ

香川電友会では、十月十三日〜十四日に一泊二日で恒例の「秋の会員親睦旅行」を実施しました。

参加者七十名で県内各地から大型バス二台で出発。初日は山口市の観光のシンボルといわれている周防・長門の大名、大内義弘の菩提寺・瑠璃光寺五重塔（国宝）を見物、その後、NHKの大河ドラマ「義経」で放映された源平合戦、平家終焉の地にある安徳天皇を祀る赤間神宮を参拝し、一路、下関の奥座敷川棚温泉へ向いラジウム温泉に浸り、旅の疲れを癒すとともに「ふぐ会席」で親睦を深め楽しい一夜を過ごしました。

翌日は北長門海岸国定公園の紺碧の海に浮かぶ美しい海岸のある青海島を珍ガイド付きで周りました。

海辺から遙か日本海を眺め「異国の丘」は見えなかったが、瀬戸内海を思わせる風は大自然の安穩の感がありました。

その後、金子みすゞ記念館へ行き「幻の童謡詩人」と語り継がれた金子みすゞの実家跡では約九十年前の生活をうかがうことができ、また、多くの人の心に感銘を呼んだと言われる作品を見学、特に女性会員は念入りに見入っていました。

帰路、萩城趾に立ち寄り昼食をすませ、土産物をしっかり買い込み、無事一〇〇kmの楽しい旅行を終えることが出来ました。



《山口県・青海島にて「2班に分かれ記念撮影」》

☆ 愛媛電友会・NTTグループ

「趣味の作品展」を開催（愛媛）

愛媛電友会では9月27日から10月2日までの6日間、愛媛県美術館において『愛媛電友会・NTTグループ趣味の作品展』を開催しました。



《 愛媛県美術館での趣味の作品展 》

同作品展は「NTT及びグループ各社の退職者・社員・配偶者が創作している趣味の作品を一堂に会し、お互いの親睦・交流を図るとともに、これらの活動を通じてNTTグループ一体感の醸成と発展を期す」ことを目的に、四国地方としては初めての試みとして開催したものです。同展への出品作品は洋画・日本画・書道・写真・絵手紙・手芸・水石等9部門にわたり、出展者一九五名、出展数二二八点を数え当初の予想をはるかに超える力作が寄せられました。また期間中延べ一二七八名の入場者があり、盛況裏に同展を終了しました。

サークル紹介

* ゴルフサークル『ハ一会』*

雀部 年久（高松市）

サークル名「ハ一会」の由来でもある昭和五六年（一九八一年）に発足した香川のゴルフサークル「ハ一会」も、今年で発会以来、二十五年となりました。

その間に開催した例会コンペも二六〇回を数え、サークルコンペでゴルフを楽しんだ会員は延べ一万人近くになっています。当初は「ゴルフ愛好会」として呼びかけ、発会以後発足年にあわせて「ハ一会」の呼称で今日まで二十五年を経過した訳です。



《 ハ一会 第259回 例会コンペ 》
こんぴらレークサイドGC(H17. 11. 18)

会員数は現在84名、例会コンペは（二月、八月を休会として）年間一〇回を休まず続けてきています。

最近では多分に漏れず、会員の高齢化が進み、「八一会」でも七〇才以上の会員が過半数以上になってしまいました。

ゴルフ競技の場合は、七〇才以上のプレイヤーをゴールドシニアそしてレディステイからティショットが出来るようなルールがありますが、毎回レディステイを利用する会員の方が多く、組み合わせを作るのにいささか苦労をしているところです。

昨今は、プロゴルフの世界でもずいぶん様変わりして、女性が男子のトーナメントに出たり、中学生が一流のプロに負けない様なプレーをしたり、一昔前には考えられないようなことが起こっています。

いずれにしても、我が「八一会」、残念ながら第一回からの会員は全員退会されていなくなりましたが、二十五年は一つの通過点です。これから「親睦と愛好、そして健康増進」のサークルはずっと続けていかなければなりません。そのためには若い人達の入会が必要です。

ゴルフを楽しまれる方の一人でも多くの参加をお待ちしています。

□ 入会ご希望の方は左記へご連絡下さい。

・香川電友会 事務局

☎（〇八七）八三九一九一五〇

・八一会 事務局

☎（〇八七）八八六〇四四五（河瀬）

* 電電徳島OB「縁台クラブ」 *

若江太三郎（徳島市）

電電徳島OB「縁台クラブ」は、電電公社と言われた時代に、サークル活動やレクリエーション活動が盛んなころ、今をさかのぼること27年前、昭和53年9月にOBの囲碁サークルとして発足しました。

「縁台クラブ」の名称の由来は、その昔隣近所の仲良し達が集い、朝な夕なにウチワを片手に縁台でパチパチと盤上に碁石を打ち下ろす心地よい音色をたてながら、目を血走らせて勝負に熱中している姿こそ日本古来の風物詩として、今では懐かしい風景でしかない思い出の一コマですが、「皆が元気で仲良く」と名付け親である先輩方のメッセージが、ここにあるのではないかと思えてなりません。

縁台クラブの活動の場は、平成3年4月に「OBサロン・びざん」が退職者の交流施設として開設されました。われわれOBにとって、これほど有り難いことはありません。現在では、多くのOBサークルが各々有効に活用しています。

毎週土曜日は12時から17時まで（祝日・支障のある日は除く）囲碁対局日として研鑽に努めることになっています。この日ばかりは、段級上下を問わず碁敵同士が舌戦を交え一喜一憂している様相は見物で、まさに有名な川柳「碁敵は憎さも憎し懐かしい」そのものを目の当たりにしながら楽しい一時を過ごしています。

この他に新春大会（1月）・春季大会（4月）・夏季大会（7月）・秋季大会（10月）

と年間四回の囲碁大会を開催しています。この日は賞品が用意されていて、賞品を手にするか、しないかは、その日の運次第、そのうえ4戦全勝・優勝者には、昇段・昇級の夢がかかっています。これがなかなかの難関で、勢い参加者の熱の入れようにも大きく影響してくるというものです。



◀ 縁台クラブの「サロン・びざん」での対局風景 ▶

現在、縁台クラブの会員は24名です。そのうち段位者が20名、級位者が4名の人数割りですが、中には正規の免状取得者はいても、大方の会員は縁台クラブ認定の段・級位で、その実力の程は定かではありません。

縁台クラブ発足当時から平成初期にかけては、それなりの会員を擁していましたが、時代の変革の中で趣味の多様化により会員の高

齢化が目立つようになりました。しかし、ここに来て新会員の入会がぼちぼちと見られるようになりました。これからも囲碁を楽しみたいOB諸氏に期待しています。

NTTという同じ職場で仕事をしてきたOB達が、気心知れた同士で、趣味を共有しながら集う場所くらい我々の心安らぐところはありません。

縁台クラブでは、囲碁を通じて会員の皆さんが健康で、何時までも元気に、そしてお互いの友好と親睦を大切にしながら仲良しクラブとして、これからもお役に立てればと願っています。

M・Mコーナー

* 新物喰い *

徳広 孝敏 (高知市)

「ボケ防止」にとパソコンを始めてもう8年にもなるが、パソコンの腕前は一向に上がらない。この間、NTTのインターネット環境の進歩は目覚ましく、新物喰いの私はその殆どに手をつけた。

- ① ISDN
- ② フレッツISDN
- ③ フレッツADSL (8MB)
- ④ フレッツADSLモア
- ⑤ Bフレッツ
- ⑥ フレッツ光プレミアム

なんとよくついて行ったものよ。
高齢者は時間がたつぷり有るのに意外と気

が短いと言われるが、今の光プレミアムと、ひかり電話は待ち望んでいた人にめぐり会えたような気がする。光プレミアムは軒下まではBフレッツの10倍、(1GB)で入ってくる。もちろん人の目には判らないが、とにかく速い実感できる。

先日速度測定をやってみた。NTT西日本(大阪)から自宅まで平均80MBで入っている。このメリットは大きい。プログラムダウンロードでもさほどいらせずに辛抱できる時間である。これぞ気の短い高齢者向きである。

回線のスピードが速くなり、ブロードバンド化してくると、パソコンもそれに似合う高性能機が欲しくなるのが人情である。

周辺機器のプリンター、スキャナー、デジカメetc.:。かれこれ国産上級車を買える位投資していると思う。

日本政府は5年後には「IT」の世界NO1国家にすると宣言している。自治体も、学校も、もうすでにブロードバンド回線が延びてきた。残るは個人の家庭だけである。乗り遅れないぞ。

携帯電話の進歩も目覚ましい。その昔、自動車電話の仕事に携わったことがあるが、トランクくらい大きな無線機であった。いまや一〇〇グラム程度で電池も五〇〇時間はもつ。カメラまでついている。「お財布携帯、TV電話」何でも来い。こんな時代になった。お客様は少々料金が高くてでも便利なものを望むのは至極当然である。

新物喰いの理屈を述べましたが、ただ今、

自宅ではなけなしの資金でホームトレード、外出すれば「FOMA」で大事な情報は入ってくる仕掛けをしているのでボケる暇はない。

一つだけ気分が優れないことがある。

「株」で儲けたら皆さんを一流ホテルへご案内すると失言してからもう幾年たったことか。嗚呼…。

ボランティア紹介

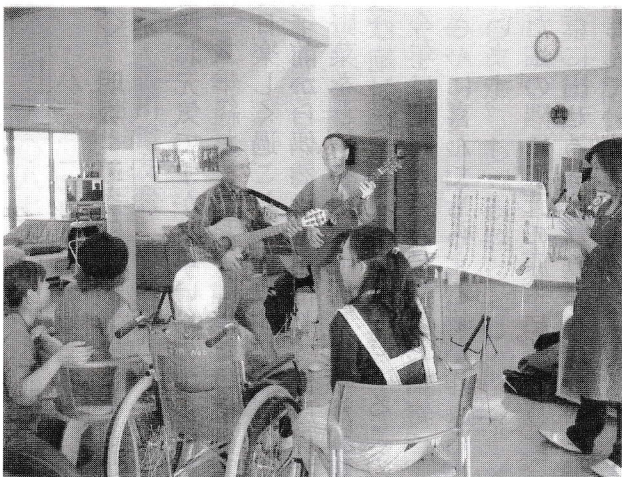
生き甲斐のボランティア

竹田 廣見 (松山市)

退職すると、人と接する機会が少なくなり会話が話題も減り、老化が早くなる。次の仕事を持たず数ヶ月経つとやる気が損なわれると友人から聞いていた。

それを克服するため退職後、私は地域の役員、地域文化活動、スポーツ振興、保護司等「来る者は拒まず」引き受け、社会に奉仕の精神で前向きに過ごしていこうと努力しています。

その中でも趣味の音楽仲間(ひよこ会)の楽器演奏(ギター・尺八・三味線・ハーモニカ等)による高齢者施設への慰問は、脳の老化予防(音楽療法)に役立つと思われます。施設へ出向いて見ると、元気そうな人も沢山おられますが、黙り込んで天井を向いている人、下を向いて眠り込んでいる人もいます。このような方々に、童謡、唱歌、叙情歌と



《グループホームの方と童謡を楽しむ(中央右: 竹田さん)》

懐かしいメロディーを奏でると、昔のことがふつふつと沸き上がり、前頭葉が活発になって、明るい顔になります。音楽が脳をリフレッシュするので。昔の出来事を忘れてしまっている訳ではなく、記憶を脳の奥にしまい込んでいただけなのです。歌詞を思い出し、歌い始めた顔は自信に満ち、共に大きな声で歌い、共に遊び、手を握って感動している姿を見て、両親を早く亡くした私には、グループホームのお年寄りを通じて親孝行をさせて頂いているような気がします。

遠い所は、宇和島、今治、新居浜とスタートしてから今では、五十力所以上になり、全て自費で協力頂いている仲間に感謝している次第です。

一時間半の演奏のラストタイムでは、介護スタッフによる「童謡のモチーフで衣装を着ての寸劇」があります。衣装は、専門の服飾学園から歴史本を見て、正確に仕立て上げ、寄贈して頂きました。介護スタッフ出演の寸劇と我々の音楽が一つになり、グループホーム全体がとても感動的になります。

日頃介護している「青年スタッフ」が扮する童謡の主人公の振り付けは、涙を流して大喜びです。三番、四番と歌いアンコールとなつて、当ホームから長寿飴(劇のストーリーから名付けて)を配られ、せっかく頂いた飴を「貴方にもあげる」と、九十五歳の叔母ちゃんから頂いた時は、本当に自分も長寿のお裾分けをして頂いたような気持ちになります。

演奏が終わり皆さんとテーブルを囲んでお茶を頂き、お年寄りから子供の頃のお話や故郷の話をお聞きすると、若い頃から本当に苦勞され物の少なかった頃、お互いに助け合い、分け合い、協力し合つて生きてきたお話を語ってくれます。

お年寄りから話したいという心に火を付けたかのように「私も、私も」と懐かしい昔のお話を聞かせて頂き、それは今までのどんな書籍より私の心に感動を与えてくれます。

人は、話したいもの、聞きたいものです。会話をすることで目が生き生きとし、年齢を重ねた方の語り口は、相手を感動させるのです。

会話に参加し「私が此処に居ることをわかつて下さい」と我々に訴えるのです。お茶会も終わり「また来るからね。風邪な

ど引かないでね。新しいネタを考えて来るからまた一緒に楽しもうね」と言うのと、涙を流しながら手を振っていたあのグループホームの方々の姿が、何時までも目に焼き付いています。今日も、慰問要請のファックスが届いており、クリスマスのイベントとして、忙しくなりそうです。

退職後の過ごし方は色々あると思いますが、人と接し、涙し、そして感動し続ける事が、健康で長生きの秘訣だと思います。

音楽を通じて、よき友達に巡り会え、スポーツを通じて明るい仲間が出来、六十二歳の私の人生はフル回転です。

皆さんも新しい友達との交流を図り違った人生感を味わってみられては如何でしょうか。

(豆知識)

ボランティア活動のいろいろ

- 環境ボランティア
 - ・ 自然及び生活環境を守る活動
- 福祉ボランティア
 - ・ 高齢者・障害のある方への福祉活動
- 国際ボランティア
 - ・ 国際社会への支援・協力・貢献活動
- 地域ボランティア
 - ・ 地域を基盤に環境を整え、快適な地域生活ができるように努める活動
- 収集ボランティア
 - ・ 種々の団体への活動資金の援助活動

私 は 今

◇ 明坂 義香 (春野町・H5退)

皆様お元気ですか？早いもので退職してすでに一二年経ちました。健康だけには恵まれて毎日楽しく過ごしています。

数年前から偶然土地を借りて健康保持と無農薬野菜をと精を出して居りますが、無農薬野菜は絶対に不可能だと痛感するこの頃です。今年は肥料対策と最低限の消毒で、やつと皆さんに喜んでもらえる物が作れる様になっています。

また畑の隅に椎茸の原木に駒をうえ今年から食卓に出せる様になり、ヘルシーな健康食を楽しんでいます。

それと特筆は四十七センチの岩魚です。

◇ 網干 昭 (松山市・H6退)

NTTを退職して、来る3月で12年になります。振り返ってみますと、30代の後半からは特に忙しくて、アクセルの踏み放しでした。しかしながら、還暦(下り坂)からはブレーキは踏めども速度変わらず、月日の過ぎるのが早く、この間は病院通いの毎日となりました。好きなゴルフも休眠中ですが、もう一度コンペ参加を夢みて、毎日ウォーキングに励んでいます。

皆さんもお元気で。

◇ 一圓 君恵 (土佐山田町・S52退)

光陰矢のごとし退職してより早二十八年の歳月が流れました。その間、生活の面では色々悩み苦しむ事も多々ございますが(主人嘉幸)の病氣等々現在は家庭療養中です。

しかし最近一つの楽しみを見つけ、新舞踊に挑戦しています。年に一度の舞台、そして老人ホーム等々たまに慰問に参ります。とても喜んで下さいますので私もうれしく思います。現在、元氣である幸せに感謝し、笑顔の人生を送りたいと願っています。思い出すと公社時代が懐かしくこみ上げて参ります。皆様のお幸せを念じつつ。

◇ 稲毛 文夫 (松山市・H5退)

”グループホームいなげ”で、四十年来の知り合いの女性とお互いの物忘れなどを指摘しながら暮らしている。(ほかに猫二匹も)園長心得としては、午前中と夜間はなるべくホームに居るようにし、午後は高齢者向けの体操教室(週二回)で汗を流したり、県の生涯学習センターへ行って(週二回)”知るを楽しむ”時間を過ごしたりしている。月二回程度のゴルフは相変わらずのスコアで、三十数年前から殆ど進歩しない。実に情けない、と思いながら懲りずに続けている。

◇ 今井 智 (高知市・H3退)

退職してまもなく一四年が過ぎようとしています。この間、金婚式を前にして家内を肺

ガンで亡くし、次男と二人で暮らしています。そして今は、「暇だと碌なことを考えん」との忠告を真に受けて退職者の会の世話をさせてもらっています。

しかし、何やかやと結構忙しく”考えない”迄は良かったのですが、あまり夜の会が続くと翌日に応えるので”元氣で長持ちするよう””ほどほどに調節しながらやらせてもらっているこの頃です。

◇ 入谷 妙子 (高松市・H13退)

退職しはや五年が終わろうとしています。今までの不規則な生活から脱却しなんとか元氣で穏やかに暮らしている日々感謝。

それでも身体はどこかここかに不具合を感じようになり心機一転、フィットネスクラブに入会しスイミング、エアロビクス等でストレッチ解消、気分転換をはかっています。

また自然を求めて「歩こう会」に参加、友人達との小旅行等で生活リズムをもたせ今の一時を大切に生きるようにと心がけています。

◇ 大畑 栄輝 (善通寺市・H13退)

平成13年にNTTを退職後、同年七月からビューテック四国で看視員業務に従事し今年七月末で退社した。その後十月からシルバー人材センターより浄水場に勤務するよう連絡を受け、研修後四輪番の夜勤業務にあたっている。まだまだ新人であり、水質・水量管理

夜間受付等の業務を実践の中で深めている。私的な面では「ゆめ楽農支援塾」に入り農業の楽しさを勉強中である。また稲作も四反耕作、野菜も下手なりに植え付け、自分なりの労働の成果を楽しんでいる。

◇ 岡林 泰助 (安芸市・H4退)

退職後の十三年余りを振り返ると、有志の皆さんと共に、昭和二四年からN T T発足までの安芸エリアで電信電話に携わった方々を対象に「電電安芸会」を開催できたこと。また、この感激に酔い「N T T安芸O B会」が結成でき、交流会やボランティアにも携わりそれなりに充実と楽しい一〇年余りでした。

しかしながら、体調不良と加齢には勝てず、世代交代をと目下、事務局的な役を引き継ぐべく準備中。世話役を退いても終身、電友会・退職者の会・安芸O B会の会員に変わりはないので、それぞれの機会には体調と相談しながら参加させてもらいますのでよろしくお願ひします。

◇ 河合 雅夫 (松山市・H8退)

健康のため、毎日自転車で一時間程走行しています。

趣味の囲碁に加え、最近、若いときに練習したクラシックギターをまた始めましたが、指が思うように動かず苦戦しています。

◇ 河田 正利 (東京練馬区・H7退)

私達夫婦は三年前に、本拠を東京から松山に移しておりましたが、去る十二月、東京へUターンしました。

松山での暮らしには満足しておりますが、子供達(都内と近郊に在住)との近所付き合いを復活したくなったわけです。

松山では、仕事にも遊びにも大変お世話になり有り難うございました。

これから墓参など用事あることに松山へ戻って参りますので、どうぞよろしくお願ひします。

◇ 黒川 英子 (新居浜・H6退)

皆さんお元気でお過ごしでしょうか。日々の経つのは早いもので、退職して十一年になりました。

今は年老いた親の世話をしながらも趣味の詩吟、大正琴にと仲間との交流を楽しんでいます。

お元気で！

◇ 坂下 幸子 (国分寺町・H6退)

在職中を振り返ってみますと大変良き時代でしたが、退職して早や十年余りが過ぎました。

同居している長男夫婦、孫二人と生活し、趣味である四季折々の野菜・花を育て、友人におすそ分けするのが楽しみです。

◇ 四宮 悦子 (高松市・H6退)

退職後七年、ようやく生活のリズムになれ心と体を鍛えたいと公民館、カルチャー等へ首を突っ込み自分探しを楽しんでいます。

先日、日本文化祭がボルドーで開催され、その中で阿波踊りを踊ってきました。ボルドーの人達は友好的で、笑顔で大歓迎してくれました。その感激は忘れられません。

そして世界が平和であることの幸せと大切さを感じ、フランスが大好きになりました。これからも健康に気をつけて、又次の感動に出会えるよう一日一日を大切に生きて行きたいと思っています。

◇ 正箱 節子 (高松市・H9退)

退職してから九年、早かった様な、長かった様な、今まで仕残してきたことが多く、あれもこれもと思うばかりでモタモタと月日だけが流れてしまいました。

今、電友会のパソコン教室にお世話になり、ホームページの世界を覗いています。専らモタモタ、ヨタヨタとしていたところですが、早く自由自在に出来るようにと夢みていますが、夢みる夢子さんで終わらないようにしたいと思っています。今年の目標です。

◇ 杉村 光枝 (綾南町・H5退)

その昔の孫達を見守り続けていた明治の父母も時が流れ、父を三年前、母を四月に見送った。

七月には中国へ小一週間の旅をした。町が姉妹町10周年の行事に募集し、お金の補助も

でた。幼い日終戦までは華北にいた。北京、濟南、天津等日本人町はキレイだった。名勝地にも親につれられ行ったがおぼろで覚えていない。写真もなくなつた。北京へ高松2時間、西安へ高松3時間の空路。59年前とは思つた。旅はいたれりつくせりであつた。

◇ 隅田 俊佑 (津野町・S 62退)

バイクで山小屋往復と、近くのプール通いのかたわら、ふれあい給食配達や高齢者支援十五年。ラジオ体操八年。チャリティカラオケ三回。森林環境税を活用して、山小屋周辺で親子ふれあい自然体験二回。

一年前から県外企業と民間財団の支援を得て、竹炭作りグループ結成。大阪方面へ出荷したりあちこちで出店。このような活動を通じて、震災被災者や町内小中学校等へささやかな支援ができました。

これからも仲間と共に少しでも社会奉仕を続けます。何分のご教示をお願いします。

◇ 妹尾 正子 (吉野川市・H 13年退)

光陰矢の如しのたとえ通り、退職して早や五年が過ぎようとしています。

退職前よりはじめたスイミング・・・初めて取り組みでしたが少しずつ泳げるようになり、今では週三、四回プールへ通っています。お陰様で体調も良く健康を維持しています。

また、40坪位の畑に色んな野菜を作り、無

農薬で育て家族の健康に役かっています。これからも太陽の下、いろんな野菜と対話しながら楽しい汗を流し、心身とも元気で過ごしたいものです。

◇ 田口 正昭 (高松市・H 14退)

平成14年の春に退職して早三年半になります。退職の半年前に人間ドックを受け、糖尿病と診断され、その日から毎日一時間以上歩くことにしました。

退職後は毎日一時間以上山道を歩くことで、一年後には体重を10kg減らすことができ、糖尿病の方も健康な人より良い数値に下がりました。

平成16年には350日間山歩きをしました。今年は一、二時間以上歩いていきます。月2、3回登山もしています。現在は体調も良く、今、日本百名山の走破を目標に山歩きを楽しんでいます。

◇ 立石 安子 (石井町・H 13退)

NTTを退職して5年目の春を迎えました。時間に追われる生活から解放され、平々凡々と過ごしておりますが、二年程前一念発起し脳の活性化を目指して地域の皆様の活動の輪に仲間入りし、歌・踊り・お茶・お花のお稽古を始めました。

着慣れぬ着物をタンスの奥より取り出し、少々ハデかなと思いつつ踊りの稽古、お茶会への出席に着用し、見様見馴れで上達することを期待し、練習に励み冷や汗を流しております。

健康増進と生活に潤いを求めて、これからも頑張っていきたいと思っています。

◇ 津村 武芳 (高松市・H 14退)

今春子供への学資送り終了、六月に二年半勤めた第二の職場も退職、一年近く寝込んでいた母も十月に九十六歳の天寿を全う、私は週二回のテニスと里山歩きを満喫しています。

一部の声高な改憲、拝金主義と弱肉強食の社会状況が一段と強まっています。子供や孫達が安心して平和な生活が送れるように微力を尽くして行きたいと思っています。

◇ 永井 菅子 (新居浜・S 63退)

思うことの半分も出来ない、ボヤク年になりました。

生け花、日本画、俳句どれもすてがたく、グループ展や社中展を開催して楽しんでいきます。

腰痛や肩こりに悩まされ、自力全体の体操教室へ週一通い始めました。体調は良いようです。着れなくなった洋服も着れるようになり、ルンルンな気持ちです。

いつまで続くやら・・・

◇ 長尾 敏郎 (松山市・H 7退)

先日、松山で開催された女子ゴルフの観戦

に出かけました。今や、国民的アイドルとなった藍ちゃん、人気者の父ちゃんを従えた、さくらちゃん、女王不動との賞金女王争いと話題満載の大会とあって連日一万人を越すギヤラリーが押しかけ盛り上がった大会でした。

プレーのリズム、技、戦略も選手一人一人の個性が出ていて興味深く観戦できました。ホールアウト後には、明日に向けて黙々と調整する姿にプロ根性を見せつけられた三日間でした。上手くなるには、努力努力です。

◇ 長尾 弘子 (高松市・H 6 退)

退職してあつという間の十一年でした。その間、健康にも恵まれ旅行、趣味、友達との交流等々楽しく充実した毎日でした。

幸い二人の息子は独立し、夫婦二人だけとあつて在職中にはとても味わえなかった「時間」にゆとりのある穏やかな日々」を過ごせたことは、何よりの喜びでした。

しかし昨年、夫が二ヶ月間の入院生活をして後は、これまでに以上に食事や日常生活に気を配る毎日です。やはり元気が一番ですネ。ご健康をお祈り申し上げます。

◇ 永田 三圃 (宇和島市・H 12 退)

先日、旅行や山登りや子守にと日常とサイクルが違ったせいか、風邪を引いて寝込んでしまいました。でも、食欲だけは衰えなかったのです。

だから普段はバレーボールをしたり、陶

芸を楽しんだりして元気に居られるのだと思います。

しかし年をとると治りにくいことを痛感しました。これからは好きな物を食べ、いろいろな趣味が出来ることをかみしめ「いつでも夢を」の生活を送りたいと思っています。

◇ 西岡 弘亮 (池田町・H 15 退)

早いもので電友会会員になって3年が経とうとしています。皆様にはお変わりございませんでしょうか。

平成15年3月、60才で定年退職、即4月の町内会総会において会長に選出されるや神社総代、お寺の世話役等の指名も受け、一方、家庭菜園も始めるなど忙しく毎日を過ごしていました。

しかし今年4月突如病魔(脑梗塞)に襲われ、敢えなくダウン(2週間緊急入院)し、その際救急車で搬送というありがたくない初体験もしました。幸い後遺症も残らず元気にカムバックしております。

◇ 濱 順子 (海部町・H 14 退)

平成14年に退職し、さあこれからと思った矢先、主人の病氣と同時に母の介護と、大変な日々となり、残念ながら主人は癌で他界し一年が過ぎました。

そんな時、父の戦死した沖縄へ戦後六十年の節目に、慰霊訪問団として長年念願だった慰霊の機会を頂き、同じ遺児達と涙と感動の時を共にし心が軽くなりました。

現在は現役からの仲間と民踊の練習に施設慰問、上達しない「かな書道」と遺族会活動やボランティア活動も、今は今後の為にとホームヘルパー二級の資格を取得中です。

◇ 濱口 武久 (内海町・H 14 退)

退職してから四年になり、海の匂いとのどかな美しい小豆島の家庭菜園で野菜を作り、マイボートで魚を釣り、友達を呼んで手作り料理の味を楽しんでいます。

昨年は海の記念日に海上安全指導員として小型船舶の海難防止活動に貢献したとして海上保安部長表彰を受けました。

また、毎月一回の旅行と電友会のハイキングや山登りなど楽しく余生を送っています。今年は海外旅行を行い世界の文化、自然を通して旅の楽しさを広げたいと思っています。

◇ 原田 厚子 (吉野川市・H 6 退)

昨年十月末同居していた義母が亡くなった。義母はどうも私をライバル視していたようで、よく口喧嘩もしたが、そのお陰で九十才まで元気に生きられたのだと夫は笑って言うてくれた。

昨年一年間は好きな俳句も旅行も婦人会活動も中断し、怪我をした娘と病気の義母の看病に明け暮れたが、早期退職後十年間好きなことをさせてもらい、十分楽しく過ごしてきたので感謝を込めて義母を看取る事が出来満足している。

さてこれからの人生、好きな俳句はやめられないが何に向かつて羽搏こうかな！

◇ 廣瀬 成男 (松山市・H6退)

五十年に迫る電気通信畑での仕事も漸く16年末に足を洗い、年貢を納めました。

：自回顧録の中の①②押しとして、まずS59年の四国初自動車電話開設(ドコモ携帯発祥！)で当時大容量化マイクロ重視の中で埋もれた原石(移動体通信)が光を放った瞬間でした。

直後のS60年には民営化と事業部制移行に向け不眠不休で従事した事です。回顧録云々は老化現象とのこと！老兵は死なず、ただ消え去るのみ。

4月から町内への御恩返しとして二役職引受け虎キチ活動と両立させて頑張っています。

◇ 廣見 茂 (須崎市・H1退)

皆様、明けましておめでとうございます。

私もお陰様でたいした病氣もせず、本年は六回目の年男を迎えることが出来ました。

第二、第三の職場も退職し、月数回程度のネオメイトサービスの立会業務に参加させていただいています。また、息子二人と孫四人の帰郷を楽しみに家庭菜園、土佐寒蘭つくり、魚釣り、地域行事の世話役等々忙しい日々を送っています。

いまは妻とサンデー毎日で無理をせず健康に留意して二人一役で頑張っています。

◇ 藤田 史郎 (坂出市・H14退)

退職以来、絵画を習っています。

以前から油絵に興味を持っていましたが、第二の就職先(NTTには無縁の所)を今年の三月で退職以来、週に二回くらい学校に通っています。

幸い師や友人に恵まれて遅く始めた趣味の世界ですが、美術展に参加するための作品作りに追われています。

かなりレベルが高く大変ですが、その点充実感もあります。できる限り続けるつもりです。

◇ 二見 才知子 (高松市・H8退)

平成八年にファシリティーズを退職して早や十年になります。

在職中から日舞、詩吟、民謡、カラオケ等色々してきましたが、今の一番の楽しみは、スポーツジム通いです。？とは言っても筋トレとかではなく孫ほど年の離れたインストラクターの人と話すことです。

人間の幸せって、その人がどんな人にめぐり逢えたかだと思っています。四十余年の在職中、その後の十年もすばらしい人々に出会えた事を心の糧に日々感謝……

◇ 前垣 清子 (勝浦町・H13退)

人生の半分を会社勤め、退職後の人生設計もせぬまま半年程が過ぎ、友人に誘われてスイミング(週一回)に通い始めて二年半。

新しい人との出会いがあり、またOBパソコン愛好会に入会して月一回のセミナーへの参加、いろんな操作方法を教えてもらっています。

時には気の合う友人と映画を見たり、温泉に小旅行にと過ごしています。家庭では四〇数年目にして専業主婦として毎日頑張っています。

これからも健康に気を付けて有意義に過ごしたいと思っています。

◇ 松田 満幸 (土佐市・H15退)

三年前にネオメイトを退職し、契約社員として毎日楽しく働いています。

小さい時からの夢であった「シルクロード」を歩いています。まさか行けるとは思わなかった事が実現しています。タクラマカン砂漠を越えて西域のはしカシュガルまで行きました。童謡に「月の砂漠」があります。砂漠の自然と生活は非常に厳しい所ですが、優しい姿をたまに現します。

駱駝を引いてくれたウイグル族の顔が奈良の「阿修羅像」に似ていました。東西交易の証に大いなるロマンを感じました。

◇ 光家 正明 (善通寺市・H14退)

退職して三年八ヶ月、毎日のんびりと過ごしています。

退職後、体力維持にと思ってゴルフを始め、香川電友会「八一回」や地元「SUN遊会」に参加し楽しんでいますが、なかなか上達は

しません。

また、友達と旅行や滝めぐりとお寺参りを
しては、次回はどこにするかお茶を飲みなが
らワクワクしています。

これからも健康に留意して過ごしたいと思
います。

◇ 森安 明 (高松市・S55退)

公社を退職してはや二十五余年、まさに「大
正は遠くになりけり」の心境です。

平成十五年七月の会報「人生さまざま」欄
でご紹介いただき、その際取り組んでいた本
物のカルタ、同年十月に完成し、小学校に寄
贈、全児童に配付しました。

それを機に、小学校PTA、青少年育成会、
公民館共催の新春カルタ大会を開催、以降、
毎年恒例化しています。うれしいことです。
小学校の地域探検クラブのガイド役もつづ
けています。お陰で元気です。

◇ 八木 清隆 (松山市・H8退)

エーッ！退職して早十年にもなるのか。
そういえば65才になつとるわい。そんな気
持ちです。

飲み代と下手なゴルフ代ぐらいは年金(と
いうより女房)の世話になるまいと、小遣い
稼ぎに励んできましたが、やはりNNTのお
世話になるばかりでした。6人の孫達にも気
前のいいジジババが続けられました。昨
年四月から町内会長をやられ、予想外の忙
しさに驚きながらも、飲めなくなったらオサ

ラバと決めて、自作の梅酒、アロエ酒、ウコ
ン酒で毎日心身共に鍛えています。

◇ 薬師寺健志 (松山市・H8退)

再就職でお世話になったドコモを退職して
から五年、NNTを退職してから丁度十年が
経過しました。

この間、ドコモサービスやネオメイトサー
ビスでお仕事をさせてもらいながら、健康維
持の為に、週二〜三回のスポーツジム通いと
仲の良いお友達とのゴルフや楽しい飲み会で
リフレッシュしながら、なんとか元気に過ご
しております。

◇ 山口 正 (松山市・H8退)

平成八年に退職して約九年、諸先輩を見習
いながら現在は、テルウェル人派でお世話に
なり、マーケティングアクト四国で勤務五年
になります。

三年間ほど評議員で地域のお手伝いをしま
したが、現在は生活の中に取り入れた適度な
運動のウォーキングをしながら、学童の見守
りに専念しています。

息子が県外の宝塚市に在住しているので、
時々車で押しかけ、夫婦で六歳(男)と五歳
(女)の孫二人との交流を楽しみにしていま
す。

◇ 山崎 禎子 (高知市・H13退)

遊々快適日々反省

平成十三年に退職し早五年になろうとして
います。月日の経つ早さに驚かされています。

日々テレビとパソコンを友とし、また友人
達の誘いに、旅行、食事会、夜の街へのパト
ロールにという生活。

すばらしい老後をすごしている人達の生活
ぶりを見聞きするたびに、こういう生活でい
いのかなと反省しつつも、まっいいか！とこ
の繰り返しの日です。

たまに來る孫達とはゲームの話で盛り上が
り、今年米寿を迎えまだまだ元気な母と楽し
く暮らしています。

◇ 山崎 哲 (松山市・H7退)

二年前から小さな不整脈に悩まされていま
す。そのため好きなお酒はDrストップに。
少し淋しい思いをしています。

それでも日常生活に支障はなく、良き仲間
に恵まれ、月に十日程度の仕事と三〜四回の
ゴルフを楽しんでいます。

昨年、初孫が誕生し、やつと人並みに「お
じいちゃん」になれました。この孫と会話が
出来る日を心待ちにしています。

そのためにも「何よりも健康でありたい」
と願う今日この頃です。

◇ 山崎なほ子 (高知市・H7退)

明けましておめでとうございます。

在職中は諸先輩の方々、同僚の皆様方には
暖かくご指導をいただき、またお世話になり、
その時々を懐かしく想い、深く感謝致してお

ります。

退職して早一〇年、あつという間に、とうとう高齢者になってしまいました。その間、思いもかけず、天から持病をいただきました。でも、気持ちだけは若者のまゝに好きなこと（編み物、縫い物、刺繍、カラオケ等）ばかりしてのんびりと楽しく過ごしております。皆様方のご健康をお祈りします。

◇ 山瀬 冷子 (さぬき市・H 9 退)

光陰矢の如し、退職して早八年の月日が流れました。

体調も良くなり、現在、平均年齢七五才の三人家族で生活しています。

家庭では野菜や花づくりをし、生活に潤いをもたらししています。

「ふるさとを歩く会」に参加し、OBの皆様と話し合うのも楽しみのひとつです。これからは健康に留意し、充実した日々を送りたいと思っています。

◇ 山本 尚 (東温市・H 6 退)

四月でサラリーマン修了。憂鬱自適。

早朝ジョギング十階段四八〇段。日中パソコン画面に一喜一憂。義経、朝ズバ、ためしてガッテンに笑点。何でも鑑定団、生活笑百科、その時歴史が・・・にプロジェクトX。

愛ちゃん、藍ちゃん、愛子さま。琴欧州に高橋尚子。

晋三、平蔵、純一郎。ひろし、きよし、臉の母の中村美津子。戦場のピアニスト、蟬し

ぐれ。デジカメで旧川内の町記録。紅葉訪ねてあっちこっち。庭木の剪定。お酒は控えめに一人静かに秋の夜。皆様ご自愛下さい。

◇ 横山 邦昭 (松山市・H 14 退)

平成一四年四月末で退職。

暇な時間をどうしようかと思っていたところ、先輩に誘われ石井体協シニアソフトボールチームに入部しました。

週五日の練習（九時～十二時）で、昨年は全国大会で優勝しました。午後はテニスやジム等で健康維持に努めています。

気持ちをいつまでも若く持ち、体力の続く限り頑張っていきたいと思っています。

◇ 吉本 春子 (松山市・H 6 退)

一週間のうち五、六日はストレッチと水泳を、週の二日は退職後に知り合った友人に洋裁を習ったりしています。

腕前は自分の着る服を縫えるようにまできました。

天気の良い日は、主人と道の駅辺りへドライブし、おいしいものを食べたり、野菜などを買ったりして毎日を楽しく過ごしております。

◇ 渡部 順子 (伊予市・H 4 退)

朝晩寒くなって来ましたが、皆様お元気でお過ごしですか。私も退職して早や一三年。

還暦も過ぎ余生を楽しむ年齢になりましたが、なかなか思うようにならず孫の世話とたまの農作業に追われています。

先日催された「趣味の作品展」での諸先輩の力作に感銘を受けながらも思うにまかせません。

目下のところは、月一回、気の合ったお友達と美味しいものを食べに出かけ、おしゃべりをして命の洗濯をしています。

お知らせ

《会報記事の訂正とお詫び》

電友会報132号「健康のページ」への掲載記事について、誤りがありましたので、次のとおり訂正してお詫びします。

□ 6ページ掲載の『ゴマ豆腐の作り方』のうち、①及び②について正しくは次のとおりです。

① 小鍋に水・粉寒天を入れ中火にかけ沸騰したら弱火にして約一分半煮る。

(注) 誤りⅡ約一時間半煮る。

② 豆乳を人肌ぐらいに温めておいて①に加え、塩で味を整える。
(注) 誤りⅡ豆腐

テルウェルだより

★ テルウェル社会福祉セミナーを開催

さる、十一月十八日松山市民会館中ホールにおいて、NTT-OB、そのご家族の皆様方が多数ご来場の中、テルウェル社会福祉セミナーが盛大に開催されました。

当セミナーは、NTTをはじめNTTグループ各社からご支援をいただき、平成五年度から全国各地で開催しており、今年は松山市での開催となったものです。



《セミナーで講演する講師の西川ヘレンさん》

当日は第一部としてタレントの西川ヘレンさんをお迎えし、「ヘレンの多重介護奮戦物語」と題したご講演をしていただき、第二部では「地域の求める医療と福祉の町づくり」

をテーマに、実際に医療、看護、介護、地域ボランティアに携わっている方々をパネラーとしてお招きし、それぞれの立場から実践面での問題点、課題等を中心に熱心に討論していただき、第一部、第二部ともに参加された皆様方のお声をお聞きすると、大変好評でした。

テルウェルでは、当セミナーの他にも家庭介護教室の開催など、NTT-OB、NTTグループ社員の皆様を対象に社会福祉貢献活動への参画の機会を提供してまいります。

★ どんぐりクラブ植樹事業の取り組みについて

「NTTグループボランティア松山」（代表者 山内一孝）では、ボランティア活動の一環として「どんぐりクラブ植樹事業」に取り組んでいます。

当事業は、平成十七年度愛媛県民活動提案公募事業に応募したところ、愛媛県森林環境保全基金補助金の対象事業（事業総額60万円）として採択されたものです。当事業の目的・内容等は次のとおりです。

（事業の目的）

松山市の小学生、協力者に、どんぐりひろいを通して山の勉強会、植木鉢を使用したどんぐりの苗木の生長観察会を開催し、緑・木・森への関心を深める。さらには、苗木を仕立て植樹することによって、里山復活を図るとともに、木を育てる喜びを体験させる森林環境教育を実施する。

（事業の内容）

「NTTグループボランティア松山」が市内の小学校、協力者に呼びかけ、次の活動を実施する。

- ① 児童、協力者でどんぐりクラブ（一単位概ね10名以上）を立ち上げる。
- ② どんぐり集めを行う。
- ・ バスでクヌギ林に移動し、林内でどんぐりの見分け方拾い方の勉強会を行う。
- ・ 林内散策を行い実際にどんぐりを拾う。
- ・ どんぐりの木の勉強会として、クヌギを利用して栽培するシイタケほだ場や炭がまの見学会も併せて行う。
- ③ どんぐりを植木鉢に播いて育てる。
- ・ 植木鉢（腐葉土、砂質土、粘土）にどんぐりを播種し、学校の校庭内等で管理し幼苗の生長毎に観察日記を作成する。
- ④ 育成した苗を植林する。
- ・ 森林づくりフィールドを活用し、災害被災地、山火事の跡地等に植林する。
- ⑤ 植樹数を記録し、生長の観察・報告会を開催する。

（事業の実施時期）

平成十七年十月～平成十八年九月までの一年間
 今秋どんぐり集め（総量25kg）は終わり、初春の訪れを今か今かと楽しみに待っているところです。当事業への参画を希望される方は、ぜひ、ご連絡ください。

〔連絡先〕 テルウェル四国支店（岡田）

TEL(089)932-9955

俳句

△ 眉秋俳句会 △

(徳島)

暖かき日の冬蝶の高く飛ぶ

角野 清剛

夜咄の灯火に浮くや伊賀茶壺

加地 道子

とりどりの鳥の鳴き声木守柿

原 雅峰

晴れ切つて神有月の神楽澄む

日開 桃花

降るごとく数多蛭の水に舞ふ

山田まさよ

亀の来る海辺に近き返り花

湯村二条子

面影と話しつ点す盆提灯

和田とも子

目貼して世に遠ざかり居る思ひ

長島 正雅

社団法人電気通信協会表彰

電気通信産業功労賞 福嶋

明様(松山市)

平成17年秋の叙勲

瑞宝単光章

飯田 千鶴様(松山市)

高年齢者叙勲

瑞宝双光章

赤井 保之様(松山市)

物故者叙勲

瑞宝単光章

野村 大蔵 様

瑞宝単光章

伊藤 由昭 様

従六位瑞宝双光章

白井 登 様

従六位瑞宝双光章

森川 清和 様

従六位瑞宝双光章

砂野 利一 様

敬弔

次の方々が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

(故人のお名前)

(逝去年月日)

(享年) (生前居住地)

(愛媛県)

伊藤 由昭 様

17. 10. 1

78 新居浜市

徳永 嘉忠 様

17. 10. 5

66 松山市

石井 吉明 様

17. 10. 8

82 堺市

新 猪三男 様

17. 10. 25

80 東温市

三井 清一 様

17. 11. 3

76 今治市

日野 康広 様

17. 11. 4

62 松山市

玉置 秋義 様

17. 11. 5

76 松山市

砂野 利一 様

17. 11. 13

78 松山市

大津 通子 様

17. 11. 20

80 松山市

阿達 登 様

17. 12. 1

83 八幡浜市

谷脇市太郎 様

17. 12. 5

102 八幡浜市

日野 安雄 様

17. 12. 10

62 松前町

越智 寿夫 様

17. 12. 24

92 今治市

(香川県)

田中 廣一 様

17. 10. 5

81 坂出市

森川 清和 様

17. 10. 25

82 高松市

増田 武彦 様

17. 11. 14

74 丸亀市

伊澤 六郎 様

17. 10. 11

83 阿波市

(高知県)

小笠原恒美 様

17. 8. 24

75 室戸市

沖 富太郎 様

17. 10. 3

87 四万十市

西田 俊三 様

17. 10. 19

77 高知市

兼松 潤 様

17. 10. 22

94 四万十市

上田 幸衛 様

17. 10. 29

92 高知市

松木 照喜 様

17. 11. 10

81 野市町

浜口 隆弘 様	17. 11. 25	79 室戸市
藤山 幾三郎 様	17. 11. 29	84 高知市

表紙の言葉

心なごむポーズ

八東 幸信(松山市)

昨年の三月半ば、そろそろ水もぬるみ始める頃、南堀端の土手を散歩していると、二羽の白鳥がハート形のポーズをとっているのに出会いました。ほんとうに心が和み、癒される思いに浸りました。

今年も平和な年でありますよう、祈らずには居られません。

編集後記

新年おめでとうございます。

昨年6月から電友会事務局業務に携わり、オタオタしながら会報作成、名簿発行等に追われ、皆様には少なからずご迷惑をおかけしたことと思います。

今年はまだもう少しテキパキいきたいもの、気持ちを新たにしております。

まだまだ厳しい寒さが続きます。皆様のご健康ご自愛をお祈りします。(小澤)

四国電友会会報 第百三十三号

発行 平成十八年一月一日

編集 電友会四国地方本部

松山市一番町四一三

NTT西日本四国支店内

(〇八九) 九三六・二〇二三

印刷 株式会社 NTTクオリス